



85  
12432  
9

大圖記卷第十九目錄

信雄トヨヒデ与秀吉ヒデシ及洋楠起ヨウナン之事

尾列テラリ太山タケミ之城落居シロノミ之事

秀吉ヒデシ尾列テラリ近カタ勢セイ之事

池田池田勝入アガチ父子討死テウシ之事

秀吉ヒデシ小幡表即モロコシ強カタシ之事

秀吉ヒデシ十二万磅トモハシ安ヤハシサ網治モリジ事

尾列テラリ鍋カネ城之事

秀吉ヒデシ重タメ尾列テラリ近カタ邊マツシ發ハタフ之事

秀吉ヒデシ伊勢素御即モロコシ近カタ勢セイ之事



## 大閣記卷第九

小倅南菴之抄

○北畠中將信雄空切取三臣之事

信長公二男法名常真

永正拾二年

三月三日

於毛列長治

く城津川玄蕃毛

勢州松崎

恩田長門守

畠田助右衛門射長子尾列里

城主也安知城也新八郎長子也

生害せを勢治

毛起

ハ秀吉より

三人もまぬ並

カ子シハ

徳尾者されど

既に事同ハ

と事多一て其國も自出能

ハづく

と能

キシジウ

姫をわらわ

キヤクイ

ばね遂

ミオヤ

ササセ

やう沙汰せよ

テウアラ

と徳て

ナリ

長門ちわたりを為すと毛列昨日長治

え城にて生言せき

ツグ

と告

トモササ

之城よとよと強動ドウ。資財新奥サイサク焉去ハタマツ。  
乃有ハサ之シテ。とかトカ云ハナメ。及ハシメ。次ハシメ。也ハタマツ。舍ハタマツ。于ハタマツ。  
勝ハタマツ。後号ハシメ。守ハシメ。門葉ハシメ。て。候ハシメ。坂井下。織ハシメ。其。赤ハシメ。赤  
川。恐危ハシメ。壽林家。右。赤ハシメ。蔚ハシメ。蔚ハシメ。次ハシメ。十。右。赤ハシメ。今。赤ハシメ。赤ハシメ。赤ハシメ。  
那須。食人。佑ハシメ。山。赤ハシメ。馬。蔚ハシメ。森。田。蔚ハシメ。赤ハシメ。赤ハシメ。赤ハシメ。  
集ハシメ。云ハシメ。やハシメ。下。乃。強動ハシメ。との心。一。殺ハシメ。せ。ま。あ。な  
多ハシメ。長。鴻。之。赤。勝。也。頬。て。亨。事。也。之。  
也。門。寫。行。よ。赤。勇。に。深。う。一。事。也。之。  
之。右。知。く。あ。也。然。ハ。吊。合。戰。つ。た。ち。合。糧。一。命。卒。  
義。之。而。至。高。城。を。守。つ。活。活。三十日。たり。之。活。也。

ら。秀吉。合。力。主。よ。へ。と。有。る。宿。日。同。義。よ。若  
あり。始。後。長。別。は。射。一。朋。友。の。因。を。年。久。一。て。況  
今。臣。と。き。り。ぬ。何。そ。一。令。を。憐。い。り。ん。ば。者。だ。う  
も。か。そ。父。義。と。義。一。若。我。之。あ。よ。す。遂。討。死。以  
上。上。ハ。人。貲。と。が。丸。入。く。ん。そ。不。該。事。子。入。よ  
あり。口。ハ。其。あ。長。門。ち。妹。な。う。と。固。く。母。と。と。ぬ。三  
母。ハ。あ。宵。聲。四。へ。年。う。ひ。く。今。囃。と。と。虫。よ。あ。志  
祚。也。口。來。い。が。暮。序。赤。丸。へ。年。う。セ。く。ん。と。す。つ  
乞。ヨ。ト。リ。く。城。中。毛。私。と。や。う。る。次。翌。日。也

棄しに母をもろへて捕らひす。事とましく  
く云々。迷惑たり。生左近御前云も。殊の如  
仰。古源和尚山口に向ひてと庵。被下さるや  
ハ安樂田院庵也。厚恩は浅一。其念我事も  
忠死せど。尊武者之身と成て西一をもす。そ  
よ松高。其あつりとまて。其恵えじゆうひ。ふ  
リ。主は五千石く地を施す。業先に止ひ。門  
業す。ゆくゆく。あうけりき。木きにまつちかく  
一とて。是事之因と。變一。母と。子。孫と。祖  
母と。墨信雄。忠義。城を。守る。事ある。

利一法。之有。幸まじと。士として。在位と。義だ  
と。変一。名と。法一。法。榮へ。けり。や。汝  
處。す。士高生。ひ。あき。出。く。も。世。世。と。出  
一。あり。古源和尚。言の。と。墨。て。秀吉公  
義と。汚と。事。有。く。秀次。拂。囲。腹。之。刻。生。害  
せ。勢。治。也。

評曰。利一。固く。身と。立。ん。事と。根。ゆ。よ  
好。じ。者。い。義と。八。事。て。不。知。多。一。口。類  
病。ハ。皆。不。合。平。天。と。也。人の。身。よ。利。害  
胎。し。事。有。付。一。他。林。事。之。已。ハ。知。れ。

なりば田地ハ中人以下ナリ。中人已上  
ハよくかく致ス。

○信雄郷ラ秀吉ハ及洋稍起之事  
信雄ニ三所と生害一ノ所ハ羽柴義高前守  
ナニ作リ。羽柴者によくなくなり。故ニ秀吉  
ナリ其ニうち五箇月とて。僅ニ三所も亦康マ  
ヒ田緑入。森武藏もまたのこなり。免  
とれ。使れど信雄ナリ。役召入けま。森  
康マ。所因心玉之ちぬせゆ。古高やうナリ。

池田森かくへ。秀吉より入観おへく。尾安  
喜右衛門と。役作入へ。せ。池田毛利也。御  
厚且と。義高。事ナシ。又安是也。此ニ少  
従。信雄コヘ。事方よ。余らて。不叶事ナリと。  
片相子向て。づく里そと。お候。喜右衛門  
モ。かく。喜そ。う。ぬりく。存ノ。先理え。あ。松  
やと。感。一ノ。伊木清。喜。事封毛利。之。ち。ヤケ  
ハ。秀吉と。年立。才の。行。と。國。も。一人も。一  
作。よ。法。大。名。と。か。く。に。て。秀吉と。ま。駒。の  
狂。主。と。あ。う。よ。せ。秀吉の。か。ま。く。ね。う。色。

是くひ。然ハ後天下ノ執權ハ秀吉ノく作ヘ  
取ハ秀吉に与一力とも立。之ヲ國も多キ。  
因切ニ志をとモ。執立ミ方とも報。ホウ  
公宣レバ。おり。オーバーはんや。と。諫。ナラ。勝入シ  
ハ。諫。ア。モ。也。と。思。ヒ。方。モ。ア。リ。と。思。ヒ。黙。シ  
ハ。諫。被。ア。モ。子。似。ト。シ。が。ふ。ま。ニ。秀。吉。ド。リ。勝  
ハ。ヘ。津。四。隼。人。佑。ト。使。志。シ。テ。被。ヤ。ア。リ。ハ。津。毛  
ニ。ニ。テ。園。ト。領。酒。セ。ジ。ア。魚。ク。ヒ。も。テ。ね。毛。ミ  
ヘ。う。さ。き。あ。越。上。毛。の。接。紙。ト。マ。ク。リ。清。高。毛。ハ  
秀。吉。ハ。浦。方。と。取。持。け。リ。テ。ア。リ。ナ。リ。の。乘。勝。ト  
ヒ。の。事。全。毛。中。結。ナ。リ。以。來。も。シ。く。一。き

ミ。良。ノ。ノ。く。審。往。の。事。ミ。テ。園。の。も。より。お  
て。勝。入。ハ。秀。吉。方。す。与。一。力。殺。軍。首。モ。拘。リ  
ウ。ナ。リ。被。窮。ミ。タ。リ。序。相。形。ト。義。ト。か。ヨ  
一。信。長。ム。の。字。且。ト。三。毛。モ。秀。吉。ト。モ。忠。ナ  
ヒ。の。事。全。毛。中。結。ナ。リ。以。來。も。シ。く。一。き  
事。ナ。リ。一。肩。と。額。卑。ラ。ム。ナ。リ。又。家。康。ハ。ハ  
他。圓。ナ。リ。義。の。女。と。可。不。與。せ。ん。と。そ。二。月  
十。日。ナ。リ。于。毛。外。清。川。一。信。雄。ツ。ト。又。西。ア。ヒ。ト  
秀。吉。出。園。登。向。ア。ル。母。敵。ヒ。ま。リ。セ。申。ヘ。ト  
内。心。ト。安。一。ク。ト。カ。モ。付。ゆ。ツ。セ。四。三。日。海。田。

一後ノ久

六

○尾列太山之城為君之事！

位もとえ龜も初大山城に一万石えどわに晴  
三郎よ被下へ。音清等太史ようじ。  
主はよ太山之城主にて。至る年よふ  
てき。鐵田源二郎家位子县と。聟不  
紅葉と。後一。徳川家。天正十年六月二日源  
三郎家。京郊よおむて。討取。あひ。うき。  
信雄。尾列の太守と成る。信之。だらく。  
きこして。中野勘右衛門射をす。とりき。あつる。

勢列属之城。番主。由猪入村。大  
山え城。當ち。若計。下り事。主。之。与。幸。や。  
四國。す。き。大山町人。主。と。親。を。去。方  
へ。日。至。三。歳。と。寺。主。城。と。可。取。才。学。於  
入。也。被。下。あ。る。江。國。か。め。ね。十三。日。北。東。紀  
と。後。一。引。入。す。や。い。か。山。人。數。と。わ。せ。多。や  
り。よ。な。け。き。山。人。數。れ。う。称。う。れ。也。う  
も。あ。り。ま。も。と。そ。て。人。質。二。人。海。も。三  
月。ナ。す。れ。ま。の。よ。日。至。と。大。掠。へ。坂。一。や。り。ね  
勝。入。其。也。打。や。く。お。く。り。よ。う。と。の。よ。う。候。ひ

の事記す。かくて陣主をみけり。明後  
十九日、東条義法、斎向。ち日、ぬ、津と、  
くい、衆、脇、兵、糧、の、代、用、と、せよ、と、あり。十三  
日、大掠、と、まく、歩、あつ、よ、小方、の、ほ、と、れ、も、よ  
利、あ、船、と、ね、多、荷、ひ。東、う、て、り、け、り、先、ハ  
池、田、紀、伊、モ、備、船、と、十、艘、許、渡、て、大、主、戸  
乃、底、ア、運、ひ、け、り、ナ、リ、船、に、入、り、と、ば、當  
火、向、佐、勢、宇、義、る、川、主、に、陣、と、取、付  
ク、東、義、流、ハ、西、う、ま、一、毛、首、主、一、毛、う、當  
利、主、の、附、と、お、り、き、に、紀、伊、モ、十、艘、乃、永

子、チ、あ、く、船、と、活、一、船、へ、思、ひ、す、凱、歌、と、唱  
き、こ、城、中、里、ひ、も、さ、う、な、事、て、ハ、あ、う。十、方、よ、く  
きて、そ、一、も、と、ま、入、向、去、あ、ま、ハ、引、経、て、首  
と、取、迎、う、者、と、ハ、伐、枝、に、く、ら、甚、右、馬、射、ク、叔、文  
清、義、主、官、立、模、十、文、字、よ、印、く、四、う、八、字、よ、追  
巴、一、あ、た、を、多、勢、入、替、と、攻、入、殊、よ、清、義、主  
とも、討、捕、て、く、ら、が、く、そ、池、田、又、子、城、よ、入、  
十四、日、乃、れ、町、人、を、邑、乃、長、百、姓、め、前、レ、而、入  
城、日、も、あ、そ、ホ、リ、ま、セ、と、そ、税、使、と、ヤ、上、橋  
音、と、探、あ、「あ、ゆ、テ、派、主、と、聖、日、十、又、日、お

之刻は池田又子小牧山邊をもよおぐ勢アリ。一  
ノ兵士も石井一兵衛と教文引ぬ。一  
ウラ信雄の家康の清例シヨウリの城にて十四日  
辰軍サツ詳定シヨウドウ。明日も小牧コノマツへ出てお良  
山を城シヨウに移へ。秀吉と豪向ハシタケにれて、  
射陣ザイジンと乃事ナシ。十五日午刻清例シヨウリとす。  
小牧コノマツと心ハうらちよは追スル毛モウ子當シヨウて教文  
乃煙墨スモケラフ太タケ輪岐ワカシ乃あう動スル極ハシタケの池田撫ハシタケ動  
子スルあくあそをもまと。敵アシガともやう急ハシタケ。勝  
入ハシタケ人ヒト敵アシガを方カタへかほり。一時ヒトツ仕ハシタケ早

事ハシタケ入ハシタケくらハシタケ。兵ヒトまへ清例シヨウリより卒レ二万騎ハシタケ。兵  
牧山ハシタケ裏陣ハシタケ。とひきの長ハシタケ百姓ハシタケもと連ハシタケが池  
田ハシタケ。動スル様子ハシタケ向ハシタケ已ハシタケ之ハシタケ刻許ハシタケ二三万騎ハシタケ  
い魚ハシタケ。又ハシタケそ奔向ハシタケ。とむかハシタケてちとと教文ハシタケ  
物ハシタケ勢ハシタケを入ハシタケけり。と養ハシタケけきハ信雄ハシタケ。之ハシタケ  
唐ハシタケ。もと之ハシタケ擱ハシタケ。と。悔ハシタケ。う。と。甲斐ハシタケそ  
をそそきと。主ハシタケ会ハシタケ。よ思ハシタケ。ひこう。十六日。早ハシタケ。約  
志ハシタケ。與ハシタケ。も。一ハシタケ。大ハシタケ。山ハシタケ。と。す。て。り。未  
田羽黑ハシタケ五郎丸ハシタケも。乃。屋敷ハシタケ。放ハシタケ。丈ハシタケ。房ハシタケ。奉  
一ハシタケ。ま。羽足ハシタケ。八。情林ハシタケ。す。森。ま。義。尾。葛。基。右

東射陣を構へ。後砲三種アーラカルをして立たすと  
大旗アラシを久良原に立す。射林原小平アラシを、也砲勅アラシ  
毛アラシと刀アラシとまつはるは寛てかつて。又陣アラシは轟  
を立戰アラシ。もと森毛アラシの剛アラシ勇アラシ士アラシが、  
もと一アラシうさアラシ。多勢アラシは様アラシ立アラシ。砲アラシ毛アラシ乃アラシ内アラシ  
入アラシ。もと息アラシとくもアラシと引付アラシて發アラシしけ毛アラシ安アラシ  
三人アラシ合アラシせ。交アラシかどりアラシて多付アラシきアラシ。ウアラシ  
犯毛アラシの東アラシ。ソアラシハサアラシて聖昌アラシ。也射取アラシて  
仰アラシ。さうもと毛アラシ接アラシと合アラシせ。我アラシは討アラシたとそアラシん  
マアラシ。もと聖昌アラシゆきもと多付アラシ毛アラシとあくも

立六町アラシと西アラシ。もと西アラシも東アラシ射アラシる取アラシの者アラシえ  
たとアラシ。也二年アラシ。すて。父アラシの行アラシあつアラシと。もと。さ  
まとい。もと。毛アラシと。もと。毛アラシ江アラシと。もと。あく。もと。毛アラシ江アラシと。  
毛アラシ江アラシと。敵アラシを。追アラシ。也。山。也。その。母アラシ者アラシ  
乃アラシ。もと。ハ。又。か。た。そ。聖昌アラシ。也。もと。毛アラシ江アラシと。ハ。もと。  
毛アラシ江アラシと。後アラシろと。刀アラシを。ひ。ち。も。アラシ。也。勝負アラシ  
夕アラシと。う。も。よ。少。少。刀アラシと。射アラシ。よ。よ。そ。の。方  
て。計。被。作。面。セ。少。少。刀アラシと。射アラシ。よ。よ。そ。の。方  
也。よ。よ。これ。也。ひ。て。凜。も。も。ハ。よ。の。毛アラシ。也。  
も。よ。少。少。合。だ。そ。と。え。驚。の。聲。と。毛アラシ

毒の宣へ。汗巾と母の方へとて。少姓より何と  
云ふと云ふとてゆた。志村討もやう。西人也。  
ゆりけきは敵あと進まつよ。とも會ひ  
よ。食せ。先よ遙くらる上。息をとせ  
と寛が。首ねらかくら。ゆこう。お室  
一人。庵くまきまく。即ち柄にくあり。もと  
え。うちや即ちうと。馬こやせた。もと  
ちげ首とおとく。并列よとせと。鑑と  
おとく。おとくと敵の方へりもうます。十六七勝  
追うます。木子野城。二人。対付。一。二。

後より股アシとを魚モロ。被殺よ討き。トナリ。太山より  
賜入。又子鷦サシ。桑伊与。ます。右京亮。郡上の政  
事。夜。私合。至。勢三万。金請。太山。勝乃下に陣  
を佈へ。あり。けり。ま。益。也。敗小の。ト。國。毛  
あ。か。い。く。吉。我。を。拠。之。史。勝。負。と。勝。入。身  
と。打。く。勇。ミ。ト。ク。を。作。倒。勝。入。の。陣。よ  
掛。塞。か。と。あの。競。ひ。ま。た。の。旗。先。に。魚。み。ハ。利。あ  
り。ト。し。勢。と。上。方。底。ヘ。ト。上。陣。と。候。魚。く。而  
は。魚。勝。よ。お。て。カ。ヤ。ま。う。ん。付。ね。う。余。合  
我。あ。あ。そ。ハ。十。に。ハ。九。勝。利。と。也。魚。く。ハ。と。ニ。

もむすりとして既乃上へ勢を引とせむたり。  
一審合戦との端乘仕はりんと連れて三  
二川三川。アシテくとぞ。ものほよ血の  
川やたるんとみて大よ笑ひ。スルアキミ  
セモ。キハ浮やく。めけし。家康  
ハ敵脇の上へ引上。勢をぬへりて安うて我  
先勢の志を。凱歌カイコと囃ハシム。まじと引取ハサム。と  
て母衣マタタキの志を。既り。剣ソード。やうて勝財  
とあけひあり。既の上う候。とりし財を合せた  
マガリ。少牧山シマツヤマにて勢を入ハシム。脇の上アゲ勢

も入りよ。信雄シノブの家康カニツも小牧山シマツヤマに拠ハシム。清  
左衛セイザイや。蠻アマグ。清か外シナヘイ。宇田津村ウタツマチと要害アマよ  
拠ハシム。入至アマツ。又。玄日升クサヒタケル。那小幡ナハタケの右城ヨハシマ  
を拠ハシム。三列上アマツ下シタの役ハシム。あが田堀後タガタガタ。護  
別ハサカ。宇山名代ウツヤマニジとして。植波常陸ホサカヒタチを城シマツだ。

評曰。森モリ。木キ。守ムラシ。主シメ。あニニ。主シメ。勝利  
事ハシム。對アリ。敵アシテ。事ハシム。や。又。の。ま勇マヨウ。子ハシム。あ  
年ハシム。より。又。似ナリ。す。と。ゆ。内シタ。す。ま。よ。  
き。勇マヨウ。の。傳名ツネメイ。と。と。お。ま。鬼カニ。主シメ。と。と。お  
な。強カニ。事ハシム。ト。ト。お。ま。勝ハシム。と。大軍

よ南へひまむかや。家康へ。吉田と年  
久一う。我と桃之舎。も功莫大。や。も功  
功の程。森も深く情。眼里。乃郷中。も立  
て。うち。火炮。とか。敵。も付て。す。あり。敵。  
もたせ。日。と。書。一。連合戦。も。空。み。ハ。組。大軍  
たり。と。う。オ。も。も。と。事。も。つ。ア。一。  
小勢。也。く。那。中。と。や。も。あ。き。ハ。情。林。よ。陣。と  
彼。一。事。不。完。や。又。尾。葛。墓。右。近。野。ク。素。性  
敵。を。侮。す。其。勇。す。憤。氣。を。者。也。其。義。守  
と。氣。氣。同。一。乞。と。毒。损。目。そ。く。に。合。力。去

き。一。事。秀。吉。の。越。度。あ。く。竹。子。一。や。  
翌。日。ち。り。秀。吉。下。り。あれ。が。東。一。制。す。ハ。敵  
組。合。戦。と。桃。す。む。と。保。一。仕。多。い。共。必。陣。と。累。一  
て。だ。く。ハ。さ。き。と。や。主。サ。日。絆。と。申。作。絆。信  
雄。家。康。雖。与。之。桃。合。戦。必。不。可。意。ま。接。以。殊。他。田  
勝。入。森。ま。差。ち。ハ。あ。く。侮。於。敵。其。勇。に。や。る。付  
う。人。は。柔。能。練。可。申。い。ま。腹。肝。要。い。也。諱。

三月十二日

秀。吉。左。判

尾。葛。墓。右。近。野。入。

此。制。一。皆。か。よ。所。索。以。小。勢。戰。於。多。勢。統。戰。本

事立先狀次第や。是孟子の寡は固は至り歎  
衆と立一金云を不知かにて。秀吉も悔恨  
一。

秀吉尾列表御、も勢く事

羽柴前秀吉尾列表も勢く起ハ津川去  
番色恩田也門ち。清升田宮丸為秀吉降せりま  
一事と。今後又因ひ。主將憤と散さんわとり  
や。先勢流列萬升も坂栗役毛よ。是陣一  
け主ハ後陣ハ未曉翻山斜牢治勢多毛よ。元  
滿て。今後乃御一左右も付居たる。あ後勢

十二万五千の兵計も用ひ。秀吉三月  
廿一日夜もサ立之ハ。牢治隊毛よ。和ノ一  
勢も。次第にすよ。廿二日四日もハ。先勢大山の  
下。大豆戸の底も越。太山毛毛よ。陣取  
より後序も勢の主も。サ付く。ひよ。也よ。文よ  
ト。越りて。大山も城に入り。あ之刻よ  
示田羽毛も。主て。佐大名衆計。終速。すて  
む。射小牧山。向城も。多く。折入。皆んとの評立  
き。二重塙の要害。一の先毛すとハ。とて。日

根聖傳中也。今守は源次右衛門尉。子左立人主  
勢二千卒守入至多。署號山城主。猶兼行  
与ち。子息右京亮。表六。同名右也。勘右也。主  
勢四千余。小ねむ山の城。又ハ丹羽立也。守  
長秀。主勢八千。主場乃城。又ハ赤井。主守  
主勢二千余。内窪山城。又ハ蜂屋。又羽。金  
森也。又ハ主勢三千。主外里。又里。又より  
主事と呼。主に陣取け。未よへて。又無丈  
殿一とき事。云叶ふ。

池田勝入。主事討取之事

池田家老方面。と呼。主謀。もあり。小牧山。主勢  
逐日。主うり。うりと。又。たり。松尾三川。又。人數  
主をも。主。うり。つさけす。も。主。よ。三  
列。主。く。中。入。一。固。中。主。と。下。敵。史。せ。主。あ  
程。う。小。牧。山。主。一。主。三。二。列。主。勢。の。及。敗。輩  
事。主。事。と。ね。り。か。く。主。う。一。主。首。秀。主。相  
儀。三。列。主。殺。向。主。と。卑。ハ。つ。よ。面。と。卑。主。  
あ。ハ。安。ト。り。と。被。軍。う。り。行。と。宜。一。く。お。り  
ま。さん。と。云。一。く。ハ。又。知。月。四。日。の。未。六。山。御。半  
陣。一。年。主。首。か。く。と。主。み。一。し。主。き。主。

くくと御里推みて。昨日一美佐を事多<sup>ミ</sup>  
とて。先勝入とハぬ<sup>トキ</sup>。立日<sup>アサヒ</sup>の事<sup>アシ</sup>は也。又  
秀吉<sup>ヒメジ</sup>に與り。今日敗日お立ちづく。首尾相  
連つゝとく。主子細藤木柏井<sup>タケイ</sup>。一揆と立  
得<sup>トキ</sup>。村井化左衛門尉<sup>カゼモンイ</sup>と一揆大將<sup>トキ</sup>。森川擅右衛  
門<sup>ソウモン</sup>要害<sup>ヨハ</sup>に入<sup>ス</sup>。りん。何<sup>モ</sup>ま<sup>テ</sup>す。すり由<sup>ス</sup>。藤木より  
告<sup>ス</sup>。かす有<sup>リ</sup>と。ヤ<sup>ヒ</sup>。秀吉<sup>ヒメジ</sup>をうりと  
因<sup>ク</sup>。一揆<sup>トキ</sup>。明日六日<sup>アサヒ</sup>。主東三河<sup>ミツカ</sup>とサ<sup>シ</sup>と  
敵<sup>トキ</sup>。やうそ川取後末柏井<sup>カタハシ</sup>。攻城<sup>ヲ</sup>。放<sup>ハ</sup>。一揆  
原<sup>モ</sup>。多く乃枝<sup>ハ</sup>。お<sup>カ</sup>と。枝助<sup>トキ</sup>。毎夜歌<sup>ヲ</sup>。主

「本討<sup>ト</sup>と入<sup>ル</sup>。おひやうと相<sup>手</sup>う<sup>ハ</sup>。尾列本國<sup>ハ</sup>味  
方<sup>ト</sup>もあ<sup>リ</sup>。」必敵<sup>ト</sup>悔<sup>ム</sup>。ぬり<sup>カ</sup>け  
志<sup>メ</sup>け<sup>キ</sup>と諫<sup>ウ</sup>。勝入<sup>ト</sup>ぬ<sup>トキ</sup>。角<sup>テ</sup>三好  
豫<sup>セ</sup>耶<sup>ヌ</sup>。主鏡<sup>一万</sup>。帰<sup>フ</sup>之<sup>ヲ</sup>郎立<sup>千</sup>。昨日六日  
池田勝入<sup>三列</sup>。重<sup>く</sup>敵向<sup>す</sup>。しきの衆<sup>も</sup>人  
もと<sup>も</sup>お勢<sup>一</sup>。勝入<sup>持</sup>國<sup>次</sup>。矛<sup>毛</sup>色<sup>可</sup>互<sup>え</sup>。旨<sup>。</sup>  
増田仁左衛門尉<sup>と</sup>。被<sup>ハ</sup>役<sup>ハ</sup>。やさ<sup>し</sup>り。主<sup>旨</sup>勝入  
同<sup>シ</sup>。息<sup>池田</sup>紀伊<sup>守</sup>。主<sup>事</sup>。或<sup>ち</sup>方<sup>へ</sup>も<sup>人</sup>助<sup>成</sup>。  
して被<sup>ハ</sup>差<sup>ま</sup>く。衆<sup>宣</sup>。主<sup>事</sup>。お<sup>は</sup>儀<sup>ト</sup>す。固<sup>ム</sup>。秀  
吉<sup>ア</sup>。主<sup>事</sup>。大山<sup>ト</sup>り。法<sup>ト</sup>。栗田<sup>ト</sup>。主<sup>陣</sup>と<sup>ト</sup>。

て二室婦。よりもまかはよむく。まづせまきの地  
どもくひを。用ひひかりたり。卯月吉日の  
夜より池田又は森吉姫ち婦之ち耶三好  
孫す耶安。す立己之刻。藤本柏井ぬは。足地  
と不條陣取よしり。ニ里四方一揆茶舟と秀吉  
うち立一方名こせん且賜主きぬ。まゆう  
及ひり。行事とつまく。そきあり。角て  
ち三列表つま。發向との程。一日のまゆ  
正四支あり。藤本より小牧山にて泊至。下  
上者あつて。信雄コと家康コ。主あくま

トお詫す。泣き事あり。一者を重く美。一乞  
て仰つ。密シテ觸り。今日來く。割り小情  
すゑく。も勢の事を譲りあつす。さへおせ。  
密す小牧山を思ひ。ちよと。柳原小平柳原小平  
升伊萬升伊萬代代。母衣母衣。母羽母羽。外外の小  
姓姓。小牧山を八日あく。刻す立く。魚を獲く  
も。無縫小情無縫小情。城下を裏陣あり。立田を後守  
よ修く。遠遠門門の奥奥。士十人许。説あすまくへ  
か。南南て勢勢なり。まき。さて若劔せ

よと成し。刻よか。至り。廻り。廻入。ひう。事  
の。こゝと夢よもあくも。まこと刻。す。立  
勢と振りに。を。立。者立。ゆ。ど。や。多勢南  
を。さ。て。立ち。ゆ。上。一。り。は。あ。と。と。ま。用。と  
走。行。て。五。く。刻。よ。あ。き。走。立。者。又。來  
て。多。勢。り。も。ち。ま。う。と。切り。被。そ。ひ。と  
せ。ま。一。度。と。告。口。け。き。も。心。易。里。ひ。と。と  
サ。參。せ。つ。往。な。く。桂。腰。原。の。店。已。ひ。と。と。ま。陣  
と。來。の。め。と。そ。尚。よ。え。が。あ。ま。と。母。羽。勢。  
ウ。店。城。岩。崎。よ。並。く。狹。地。の。あ。城。を。攻。ふ。夢

夥。一。く。因。く。一。う。卑。城。ハ。築。た。う。と。非。云。を。ふ  
く。も。そ。う。と。あ。く。う。ぬ。地。因。く。先。平。一。番。後。伊。末  
清。兵。主。射。主。勢。二。子。岩。崎。く。城。よ。起。く。差。と。ひ。く  
門。射。主。勢。二。子。岩。崎。く。城。よ。起。く。差。と。ひ。く  
く。取。事。平。攻。よ。さ。う。そ。差。入。家。よ。城。因。く。大  
れ。甲。と。筋。首。に。ひ。ま。う。大。身。の。建。わ。て。能  
れ。も。う。れ。と。重。い。人。あ。れ。凡。情。く。も  
一。三。う。と。先。よ。き。よ。自。ま。う。り。ー。も。あ。つ。と。又  
ま。に。に。田。紀。住。ち。う。内。た。湯。ち。左。兼。後。弓  
根。經。

新シと多繁ハシマ。あへりはせん。猪  
首の甲カニを湯寺ヨウジにシテにさり。行紀  
伊イだたる。軍初スルの門ゲン。  
ウシシ。か。くト。そト。ハ  
お破ハラフ。と。塔タツ。引ハシマ。され。みれ。勧アハシマ。牙  
吹ブキ。身ヒメ。被ハサフ。大オ。手ハシ。お湯ヨウ。ニ。三。都。京  
弓アマミ。を。多。勢。入。替ハシマ。く。行ハシマ。あまく。而  
主シテ。負ハシマ。肥ハシマ。右。備ハシマ。討ハシマ。う。く。そ  
も。弱ハシマ。兵ハシマ。衆ハシマ。櫛平ハシマ。て。底ハシマ。よ。片。相。ま  
左。備ハシマ。射ハシマ。勢。一。人。不。漏。討。捕。三。百。余。宣。檢

主シテ。勝。入。宣。檢。一。つ。事。か。す。接。通。ほく  
玉タマ。一。也。二。ね。猿。セ。山。安。う。升。伊。方。を。也。と  
欲。き。ひ。一。つ。追。立。し。れ。剛。音。を。多。く。討。セ。敗。軍  
も。す。よ。一。云。も。す。り。始。を。力。う。な。り。す。に。よ  
り。も。き。ハ。候。と。替。つ。事。も。な。く。各。同。と。同。と  
乃。合。セ。息。も。り。ん。て。右。け。ふ。あ。ハ。田。中。久。喜。萬。尉  
皆。え。や。う。海。の。あ。ハ。車。く。え。う。ハ。強。モ。郎。唯。今  
林。原。少。年。ち。み。羽。勘。め。と。桃。合。戰。作。一。つ  
多。勢。よ。打。立。う。き。い。と。云。も。累。ぬ。よ。久。モ。郎。大  
の。眼。と。う。く。教。こ。よ。太。り。あ。う。ゆ。う。ハ。使

少使ナシナシとよれ。まゆの、近前と云ふ人數を全毛  
毛は少使ナシと云ふ事に使ニキすとには還す。人ふは毛  
つもと。唯逃スルて來カムだ。やハシナシとあんあき。毛  
上兵書シテ。將怪則士侮フツクふと。うりと。毛ハシこれ  
篇中久コトハシ。毛ハシナシと。久毛那左右ナシ者  
共。帰カムハ推察タチツメのと毛ハシ。田中ハシハ役ハシの下ハシ。那  
て自リ鳥翼トリヒタ。一ヒタ

件ヒサシ田中ハシハ毛ハシナシと立タチ百人。事ハシ近前と。毛  
次長毛ナシナシハシに傳ハシく。傳教ハシナシ。毛ハシナシ  
卯月九日辰ミトケ下ハシ刻ハシ小幡村ハシより。おもハシうな勢

毛ハシ人ハシと追敵ハシ。毛ハシ國ハシ。毛ハシ見ハシた  
毛ハシ。又ハシ一ヒタ僕ハシ向ハシ。毛ハシうハシ。毛ハシと云  
者毛ハシとハシと毛ハシ。毛ハシ。あの一ヒタハ四ハシ合戰  
とおもハシう勢ハシナリ。各差倍ハシ。一ヒタと云ハシ。毛ハシ  
毛ハシ程ハシ一ヒタ。毛ハシうハシ。事ハシなハシ。毛ハシ  
毛ハシとハシとハシ。毛ハシやう計ハシ。毛ハシもハシ。毛ハシ  
毛ハシ。學ハシ。毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ  
毛ハシ。狹ハシ地ハシ。毛ハシ。毛ハシ。一ヒタ件ハシ。毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ  
毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ  
毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ。毛ハシ

スとさへも。田中ハ達也郎安へねりと我  
とて。其れど思ひ云あらへぬ事と云てハキ  
總首へはせん。う。氣キも足してはゆきもの。す  
一。國も不入。停安テイキから總角チヨウコをさせにうち。  
評曰。種馬ハ清列セイリョク家におゐて。生種大おやぢ  
一。陣はく。夷次イチジハ役石エクシか一。下り。さす  
うは撰スル。者やく。合戰カツゼン。軍ノ軍ノ勢  
勢ノりと。終スル。尺チ。劍ソウ。手ハ。う。こ。う。く。づ。き  
思ノが。亥イハ。村善右ムラヒロ。に。槍ハ。又。手ハ。機  
炮ハ。う。た。せ。防マサニ。敵アシガ。機キ。物モノ

追捕スル。ひも。二。ハ。引ヒリツ。き。なり。私ワと。云ハ。を。取フ。て。ゆ  
合ハ。手ハ。痛ク。我タ。て。也ハ。も。甲付カタタグの。首ハ。三。討捕スル。て  
とタ。う。も。も。事ハ。と。せ。と。追スル。あ。う。に。平聖  
槍ハ。平ハ。号ハシ。を。ハ。秀吉ハシ。而ハシ。馬ハシ。也ハシ。一。ヶ。走スル  
豫ハシ。言ハシ。度ハシ。ひ。而ハシ。目ハシ。と。あ。づ。き。一。か。づ。と  
とタ。て。あ。回スル。ま。來スル。あ。う。う。夷次ハシ。へ。不。爲ハシ  
日ハシ。主。達。也。郎ハシ。と。穿ハシ。て。か。り。サ。く。寄ハシ  
移ハシ。一。人。討捕スル。一。も。又。新。主。と。え。く。打。合。戦。我  
い。を。も。平。聖。し。危。く。刀。一。ヶ。走スル。毛。太。行  
立。毛。主。打。合。戦。一。と。あ。よ。う。り。小。五。と。日。わ

敵に付く旗すと目を急ぐ。急げまし。事  
略を志門村向かひて左庵門村は、中度山に進み  
向く達と合せ、三ノ口橋戦。裏へまつて  
てまりに度免くろしげまハ敵隊制打  
まく一打擣く。我あつよ。二人の本ト見景  
面も一足りると討死。そりそりがくて  
うを南下して逃す。東へとあつし  
まく。おなじ若さんだけだり。君崎の森の  
竹と並べ山行。池田又三本、まきや。久  
五郎も若川。あつあく。陣と海へとまく。

あよ。良吉立候。之候をかく見なとハ之を言  
狹抱大泊を率どを。まか敗軍と見てたゞ、敵  
唯今帰すと遙く一の遠。十尺も下りかまく。かた  
じよじよせき。あありそくまく狭抱と云  
すてあひする事。馬上一人うちたゞ。ひよる  
てハめあはば百石之地。さりと。だりよを滅  
げまハ。一きハれずもなて居居たり。ひあすり  
ひそひそ先駆を待候。ひより。敵を進と  
いふ。東たり。えちむりはぬ。雲をと見て  
進とく。ひやと不ま。又川をとわく。まえ

やまとえぢにざい推取内アシタツのあまを奉ヤケからまく  
大の眼アシタツといづり下がりそりけき。一夜不  
寝トツとそ寝スルてこけらまよくゆけよとひかさ  
きたう。勢のうせと一で、えちんとくよき  
団ヨウドウよろす。寝て色をきのふたまわもあらず  
敗少すり地をきの帰りを寄ハシメひきとをくれと一  
里リ半ハーフ走付ハーフ一百八十條付補ハーフぬに田勝入  
団ヨウドウよゑ紀伊エチイを全ゼン矛マサ右衛エイ  
は弓二万森年ニシテ計カウちも久クモロよ推スルひく。追ハシメり首取ハシメル多  
討捕ハシメルよく。度カウは井イ仲シ伊イ。

万世マセよて十九トトロ歳。容顏羨麗ヨウリにて。心侵  
よやき一ヒけき。家康カニカマを觀ミく寵ムカシを一  
うり。左剛兵三千サン之勢ノシテを付スル。も又その  
辰巳タツメなづく。三股サンよ便ハシメるあるひのう。狹炮カイボ  
者カイ六百人ロク人ジンを手ハシメて法ハシメく。をもどハシメ。ゆき  
先ハシメ勢ハシメをよ遊ハセキ易ハシメ。追ハシメく。夕ハシメく。やよ  
久ハシメを弓ハシメともやき。また役番ハシメる上ハシメが。法ハシメ  
士ハシメ取ハシメ立ハシメんととハシメき。まつりよ歸ハシメく。ゆきと  
おひまたら。勢ハシメをよは。早ハシメ年ハシメよ立ハシメいと。に  
軍事ハシメを勢ハシメ立ハシメんとよれ。立ハシメも瑞ハシメと下ハシメ。

國と一揆勢のとく、自ら身ひきうちら後  
砲兵を先達と號けりよ候く。甘露守あれど  
進立よと大もあらずとと。も知れども、國とが  
やよ又えり。うちを腰もられ至つても、追拂りん  
とせり。換砲ゆく森の肩回を射たりけり  
す。夢もとどらしによめてうり。敵ハ毛  
よ氣とぬ。嘆めは毛よ力も。ちいづ道にかた  
うり。又くけもひ敵於勝よ高くの尾崎  
と取く推<sup>タケ</sup>。一トより、鷹入文子もたまの合  
戦の多。ばけありうけよだく。右手と強く

まとまへと推く。夢もと身もほぐれく。許  
よ。撃つてつまきを井伊<sup>イシ</sup>から換砲<sup>カタ</sup>と勢門<sup>ミツ</sup>から  
くすきの。安西<sup>セイシ</sup>から。殊<sup>ハシ</sup>よ金の扇の。も詮毛  
もとと。わ日の。もつゝめくぢーとだり。板<sup>ハタ</sup>、桂川  
をこきよ。浦<sup>ウチ</sup>。けりよと花<sup>ハナ</sup>。己<sup>オ</sup>がうき  
うり。足<sup>アシ</sup>はぬを。ゆ<sup>ヒ</sup>。うと之難<sup>ハラシ</sup>。足<sup>アシ</sup>。内<sup>ナリ</sup>  
裏<sup>アリ</sup>と。自<sup>リ</sup>。勝への譲<sup>スル</sup>。うとく處<sup>スル</sup>。御<sup>ミ</sup>危  
相<sup>シ</sup>。う市<sup>シ</sup>竹村<sup>タケムラ</sup>。あ冬<sup>アキ</sup>。みく。前<sup>アヘ</sup>。をもつ  
く歌ひ居たり。すかく。此<sup>シ</sup>ゆ<sup>ヒ</sup>。公<sup>ハシ</sup>。かくとも。

平あ乃歎をへ追り。手繩引はせ死  
故善之にせしと。此時にかと曰ひ奉  
く。次仰よりて。笠抜十丈あり。ゆく回て防  
げ。よれ聲。ぬぐく。多く方より。城りと  
ちの歎ハ多勢なり。東方ハ大勢なり。北へお  
うきし。付死とそ遠りけ

ほは此者も。志常にす。一。黒て。意。死  
り。一。身上に。本。後。六。射。寔。て。魚。ア。  
ホ。一。我。く。寔。外。一。も。井。右。也。助。事。く。  
勝。入。二。首。取。て。ア。也。四。ウ。先。手。也。田。子。な。

三  
人  
立  
て  
見 色ハ別あ口。 挑。鬪。毛。也。う。よ。足。踏。宣。地。戰  
へ。左。右。之。勢。公。立。モ。も。へ。も。と。セ。一。つ。敵。ハ。少  
を。追。り。せ。舟。な。き。よ。ハ。取。合。と。係。之。勢。と。主。物  
く。す。立。も。ち。と。な。ま。と。至。一。う。せ。勝。入  
回。橋。子。紀。伊。也。森。チ。免。セ。一。よ。係。く。西。敗。軍  
ト。及。い。け。き。ハ。舟。後。也。と。ひ。よ。う。り。森。ハ。の。生。陣  
候。陣。一。り。よ。成。く。追。行。平。討。よ。う。り。行。い。と。  
母 衣。く。者。侵。害。之。ま。と。も。追。く。と。ふ。も  
る。や。り。ゆ。く。と。制。タ。シ。ム。守。ク。モ。道。よ  
ね。う。も。房。よ。や。き。あ。ん。お。う。追。撃。引。入。す。も

利

秀吉の信地田文子討死。即ち馬之事。

天正十二年四月九日午刻地田文子主事吉義ち  
討死。也。正午未四。後進あり。秀吉の主目也  
立よ。取がくよもえ勢の能を敵と堅固す  
守りし。主事ハ悪く守主と觸也。敵  
汗馬。急き。一番貝は支勢もや。也。一  
古馬路の下。色を變あ。よ行主之。二番  
三番より十六。毒氣。也。一。即ち。即ち。也。  
あり。道とう。爲吉者。引ひき。す。通う。に

椎木。かく。也。矢。鷹。鳥。也。本村中年人。佐藤尾高。也。  
一柳市。今。キ。と。差陣。是。を。む。た。う。と。也。久  
手原。そ。て。向。り。ん。と。鷹。鳥。もの。ね。と。や。る。也。  
や。き。の。早。合。戦。事。る。と。小。備。の。家。康。信  
雄。の。印。勢。と。取。入。す。と。高。ま。る。し。云。う。り。宣  
不。ト。た。も。る。と。ひ。く。け。き。ハ。接。合。サ。馬。と。入。能  
兵。を。サ。く。討。捕。ぬ。尔。も。も。敵。も。南。の。う。り  
付。く。道。と。く。取。入。け。れ。半。秀。長。も。も。ね  
ち。も。ま。ま。く。い。つ。も。つ。地。田。サ。敵。と。め。海。ら。き  
ま。ま。つ。う。け。と。も。と。再。三。制。つ。よ。不。用。亮。

かく取越す一事。之を極めせりとて、敗れた  
らくにや情へかづく池田うゑひ念哉志てんよ  
とつもこまごとあるとあらわいと。各處よ取  
付。よ日も西山キタヤマよか。敵も勝く軍の筋を  
あら。一向を取合キタハシマツキ。神小乃くは衆唯わせまて  
れもと細き可おほさんと。猶豫ヨウイともた  
く連せは難を候。波陣ハビントキ。

評曰。おもとづく。古今の易の人事  
より。八十町を追ひ。秀吉の先陣と云  
合。うちをあく。又合戦ある。上勢の勢を

と云。多勢と云。三河勢の事にあらず。ばくきと  
勢と云。少勢と云。秀以危うき。あ慮アラブす  
う名ねやく。も追とあく。も制アヒく  
つよ。依て。勝利と全く。さくらん。勝消アリ  
さく。追と。孫子ソノジと。ひて。慎  
り。三。二。有アリ。そり。左陣。ハサまで。大の三人  
討死アリ。つづり。ほまると。多く秀吉を  
にあアリ。小情へ取入。勢の首と。見え。あ  
一。怪ねう。死もため。心。まき。心  
や。あ。一。や。よ。あく。ぬ名ねう。

と。主は乃風倍感哉。

委<sup>ミタセ</sup>ハ、橋尾義助は、うに、龍馬もよみて、鞍馬も  
弓<sup>アキ</sup>。木ちり川<sup>カミチリ</sup>と越え、陣拂ひと、槍<sup>ヤシマ</sup>一通<sup>スル</sup>。  
と、槍<sup>ヤシマ</sup>付<sup>スル</sup>。橋尾<sup>ミタセ</sup>、御<sup>モ</sup>安<sup>モ</sup>、お<sup>モ</sup>と、槍<sup>ヤシマ</sup>  
く、と、川<sup>カミ</sup>御<sup>モ</sup>越え。某<sup>モ</sup>是<sup>モ</sup>、あん程<sup>モ</sup>、袖<sup>スリ</sup>す  
け<sup>スル</sup>。一戸<sup>スル</sup>と、きく、小憤<sup>ノ</sup>す。よ向て、う、渋  
炮<sup>ボウ</sup>と、渋<sup>モ</sup>。難<sup>シ</sup>人<sup>スル</sup>、原<sup>ハ</sup>、芝<sup>ハ</sup>、とつ。かく、者  
八百<sup>ハ</sup>、许<sup>カ</sup>、く、至<sup>カ</sup>。帆<sup>ハ</sup>、雲<sup>ハ</sup>、少<sup>カ</sup>、と、かけ<sup>スル</sup>  
仰<sup>ハ</sup>、よ、正<sup>カ</sup>。敵<sup>モ</sup>慕<sup>ハ</sup>、そ、禮<sup>ハ</sup>、殊<sup>ニ</sup>、吉<sup>タク</sup>。  
坂<sup>モ</sup>、かく、と、起<sup>スル</sup>。そ、是<sup>。</sup>

秀吉<sup>モ</sup>十二万<sup>モ</sup>兵<sup>モ</sup>勢<sup>モ</sup>、サ<sup>モ</sup>納<sup>カ</sup>、事<sup>。</sup>

さて翌日、軍陣<sup>カウテン</sup>、勢<sup>モ</sup>、サ<sup>モ</sup>納<sup>カ</sup>、事<sup>。</sup>  
すねく、ゆくも又、安<sup>モ</sup>、橋尾義助<sup>モ</sup>、刀<sup>ヲ</sup>、吉<sup>タク</sup>。  
てきあま<sup>モ</sup>、陣本の内、大字村に、ちくて、討<sup>ル</sup>。  
と、そ<sup>レ</sup>は、す、も。秀吉<sup>モ</sup>十二万<sup>モ</sup>兵<sup>モ</sup>勢<sup>モ</sup>、坂<sup>モ</sup>、  
彼<sup>モ</sup>、く、も<sup>リ</sup>、よ、り、す。以<sup>テ</sup>、風<sup>モ</sup>帆<sup>モ</sup>。下坂<sup>の</sup>車<sup>モ</sup>  
す、也<sup>モ</sup>。車<sup>モ</sup>、こ、り、つ、と、け、ま、一、を。又、勢<sup>モ</sup>、上<sup>モ</sup>  
ハ、辰<sup>の</sup>、別<sup>ハ</sup>、許<sup>モ</sup>、よ、座<sup>リ</sup>、黒<sup>モ</sup>、と、あ、ま<sup>モ</sup>、坐<sup>ス</sup>。上<sup>モ</sup>  
モ、一、く、ハ、さ、橋尾<sup>モ</sup>、起<sup>ス</sup>、と、せ、る、事<sup>。</sup>

も一揆也。多々震のゆく、おこりて來く。義助  
は有陣の倒きと、幾重をなく。お圍カヨ。ら  
銃炮カノコもあぐく時のがよと、ゆりかけ。改カハは攻入  
ひとかくカクすより。窓ても、お城次第カニシタツよつてより  
と云も。やくハ宣カニ十重カニお圍カヨ。は築  
木柵カシマ井カニ。首カニより寛カニ竟カニ射カニされ多き。左を  
きへ。車カニうつむねうん。唯カニは撲カニと堅固カニ守り。  
後カニ走カニと走カニ。と云ひ多うりより。帰尾  
を換カニ益カニと勘弁カニ。唯カニ色カニ窓ても、正カニ。  
時刻移カツルす間く。敵カニはかきやり。あすへうそ

處カニまきそそて、西カニのすカニもよ強カニく強カニも。狹炮  
を放カニ。立カニもきへ。一揆也。西カニのすカニへ悉く池集  
て。やくもかくおれ。細カニき道カニよせき。やく  
躊躇カニ。あうまカニと門カニとも。狭炮カニと打カニく  
窓カニて。やく。蟻カニと拂カニよつとく。らす。妻カニ子  
へんだけたり。やうて、門カニのうちへ取カニへ。東カニに向  
て。やく。一人カニもあカニ。と。上カニより下カニへ。小上カニ  
りまカニ赴カニり。兵書カニよ云。敵攻カニを右カニ。左カニを  
使カニよと。す。事カニと一揆原カニ。至るのもう  
みさよ。独カニを西カニより南カニ。一揆也。山の尾

時ハシマと取ハシマ。あらひちくの顔ハラヒツクも見ハシマ。  
一ハシマがこの音ハシマよりも、ゑひく聲ハシマと舉ハシマ。中ハシマ  
すきまハシマ。れ事ハシマ。肝魂ハシマもあらへハシマそと。里ハシマ  
あらも弱ハシマトハシマよハシマくハシマよハシマとせ  
と拂尾ハシマの附ハシマすハシマきハシマに有ハシマるをハシマさ  
ちとのけハシマ。乗ハシマくハシマわハシマそ。んハシマと一ハシマよ宣  
りハシマ。またハシマ天ハシマ令ハシマうハシマと思ハシマひねハシマ。只ハシマ固ハシマは成  
てハシマよハシマとハシマかハシマとハシマりハシマあハシマりハシマつハシマ  
付ハシマわハシマ付ハシマ。拂尾ハシマ打ハシマ。宴ハシマ例ハシマ。く首ハシマを捕  
てハシマはハシマつハシマ。立ハシマ六ハシマおハシマ及ハシマ。立ハシマ助ハシマ家ハシマ長  
てハシマ

松原方ハシマ右ハシマ。射ハシマ吉川新兵ハシマ左ハシマ。射ハシマ。每ハシマ年ハシマ右ハシマ門  
射ハシマ中ハシマ西ハシマ膳ハシマ左ハシマ。射ハシマ保本善右ハシマ。射ハシマ聖ハシマは一度ハシマ  
考ハシマ。一ハシマ脉ハシマ二ハシマ脉ハシマ三ハシマ脉ハシマ四ハシマ。射ハシマ一ハシマ錢ハシマ。射ハシマ二ハシマ錢ハシマ。  
二ハシマ町ハシマ宋ハシマ通ハシマ。射ハシマ分ハシマ。射ハシマ打ハシマ。酒ハシマ一ハシマ升ハシマ  
音ハシマくハシマ松原ハシマよハシマ。县ハシマとハシマ正ハシマけハシマ。一ハシマ揆ハシマの  
中ハシマよハシマあハシマゆハシマの敵ハシマ。あハシマそ里ハシマひやくハシマ。そ  
こ字ハシマよハシマもハシマそハシマうハシマ。ハハシマそハシマそハシマ。至ハシマよハシマ大ハシマ度  
トハシマ。おハシマそハシマ被ハシマの邊ハシマきハシマ者ハシマもハシマよハシマ追ハシマ  
てハシマねハシマわハシマ。よハシマてハシマこハシマすハシマりハシマ。おハシマ月ハシマ。音  
羽ハシマ里ハシマの古ハシマ城ハシマ。射ハシマ是ハシマ後ハシマ放ハシマ付ハシマ。拂尾ハシマ。

佐左志<sup>シマツ</sup>の尉伊豆掃教め被入至。尉小牧<sup>シマツ</sup>に向博士  
余<sup>ナ</sup>所博<sup>シマツ</sup>モおまえり。并<sup>シテ</sup>於<sup>シテ</sup>之<sup>ヲ</sup>參用<sup>シ</sup>御<sup>シ</sup>ト祀<sup>シ</sup>付  
因<sup>シ</sup>廿九日卯馬<sup>シマツ</sup>を納<sup>シ</sup>。諸列大禮<sup>シマツ</sup>之<sup>ヲ</sup>寺内<sup>アヘ</sup>居  
東<sup>シ</sup>差<sup>シ</sup>坊<sup>シ</sup>接<sup>シ</sup>。一<sup>アメ</sup>日<sup>ミ</sup>卯<sup>シマツ</sup>御<sup>シ</sup>拂<sup>シ</sup>。小吉<sup>シマツ</sup>丹波ノ  
ウ<sup>シ</sup>將<sup>ハシ</sup>入<sup>シ</sup>至<sup>シ</sup>。是<sup>ハ</sup>敵<sup>シ</sup>も<sup>シ</sup>け<sup>シ</sup>と。並<sup>シ</sup>のト。又<sup>シ</sup>軍  
の<sup>シ</sup>候<sup>シ</sup>て<sup>シ</sup>と有<sup>シ</sup>。又<sup>シ</sup>月<sup>ク</sup>朔<sup>シ</sup>日<sup>ミ</sup>馬<sup>シマツ</sup>内<sup>アヘ</sup>卯<sup>シマツ</sup>陣  
と<sup>シ</sup>居<sup>ラシ</sup>二日<sup>シ</sup>か<sup>シ</sup>登<sup>シ</sup>升<sup>シ</sup>。殊<sup>ハ</sup>名<sup>シ</sup>う居<sup>レ</sup>城<sup>シ</sup>と取<sup>リ</sup>  
キ。信雄<sup>シマツ</sup>下<sup>ト</sup>より子<sup>チカサ</sup>六<sup>シマツ</sup>櫛<sup>シマツ</sup>十<sup>シマツ</sup>林<sup>シマツ</sup>を<sup>シ</sup>居<sup>ラシ</sup>子<sup>ヒタチ</sup>見<sup>シ</sup>十<sup>シマツ</sup>少<sup>シ</sup>後  
尉<sup>シマツ</sup>小<sup>シマツ</sup>兵<sup>シマツ</sup>六<sup>シマツ</sup>櫛<sup>シマツ</sup>十<sup>シマツ</sup>林<sup>シマツ</sup>を<sup>シ</sup>居<sup>ラシ</sup>子<sup>ヒタチ</sup>見<sup>シ</sup>十<sup>シマツ</sup>少<sup>シ</sup>後  
豫<sup>シ</sup>九<sup>シマツ</sup>合<sup>シ</sup>勢<sup>シマツ</sup>ニ<sup>シ</sup>子<sup>ヒタチ</sup>事<sup>シ</sup>務<sup>シ</sup>。るか勢<sup>シマツ</sup>入<sup>シ</sup>至<sup>シ</sup>

四方<sup>シマツ</sup>に柵<sup>シマツ</sup>三重<sup>シマツ</sup>四重<sup>シマツ</sup>付<sup>シマツ</sup>。ら、鐵炮<sup>シマツ</sup>と立<sup>シマツ</sup>  
遠<sup>シ</sup>間<sup>シ</sup>入<sup>シ</sup>。射<sup>シ</sup>入<sup>シ</sup>攻<sup>シ</sup>け<sup>シ</sup>。板<sup>シマツ</sup>と<sup>シ</sup>かけ<sup>シ</sup>板<sup>シマツ</sup>と接<sup>シ</sup>。可<sup>シ</sup>  
ヤ<sup>シ</sup>矣<sup>シ</sup>。と助<sup>シ</sup>一<sup>シマツ</sup>金<sup>シマツ</sup>と<sup>シ</sup>口<sup>シ</sup>。考<sup>シ</sup>吉<sup>シマツ</sup>。攻<sup>シ</sup>干<sup>シ</sup>  
シ<sup>シ</sup>と<sup>シ</sup>。放<sup>シ</sup>射<sup>シ</sup>。也<sup>シ</sup>。ゆ<sup>シ</sup>攻<sup>シ</sup>活<sup>シ</sup>城<sup>シ</sup>中<sup>シ</sup>。旗<sup>シマツ</sup>の權<sup>シマツ</sup>と<sup>シ</sup>  
呼<sup>シ</sup>。あ<sup>シ</sup>ま<sup>シ</sup>き<sup>シ</sup>と<sup>シ</sup>。接<sup>シ</sup>い<sup>シ</sup>き<sup>シ</sup>す<sup>シ</sup>や<sup>シ</sup>よ<sup>シ</sup>ん<sup>シ</sup>。ゴ<sup>シ</sup>く  
き<sup>シ</sup>。う<sup>シ</sup>て<sup>シ</sup>と<sup>シ</sup>の<sup>シ</sup>あ<sup>シ</sup>と<sup>シ</sup>ち<sup>シ</sup>と<sup>シ</sup>計<sup>シ</sup>よ<sup>シ</sup>。う<sup>シ</sup>あ<sup>シ</sup>  
く<sup>シ</sup>風<sup>シマツ</sup>と<sup>シ</sup>ぬ<sup>シ</sup>も<sup>シ</sup>す<sup>シ</sup>け<sup>シ</sup>。五<sup>シマツ</sup>日<sup>ミ</sup>の<sup>シ</sup>和<sup>シ</sup>ま<sup>シ</sup>許<sup>シ</sup>  
や<sup>シ</sup>。あ<sup>シ</sup>んと<sup>シ</sup>ま<sup>シ</sup>。大<sup>シ</sup>手<sup>シマツ</sup>門<sup>シマツ</sup>と<sup>シ</sup>開<sup>シ</sup>う<sup>シ</sup>んと<sup>シ</sup>要<sup>シ</sup>  
す<sup>シ</sup>て<sup>シ</sup>。又<sup>シ</sup>モ<sup>シ</sup>。敵<sup>シ</sup>鎌<sup>シマツ</sup>と<sup>シ</sup>ぬ<sup>シ</sup>と<sup>シ</sup>化<sup>シ</sup>く<sup>シ</sup>み<sup>シ</sup>人<sup>シマツ</sup>たり。  
非<sup>シ</sup>や<sup>シ</sup>く<sup>シ</sup>つ<sup>シ</sup>。あ<sup>シ</sup>者<sup>シマツ</sup>。即<sup>シ</sup>の<sup>シ</sup>本<sup>シ</sup>と<sup>シ</sup>用<sup>シ</sup>。わ<sup>シ</sup>よ。

くと云ひ。とくに山中より出でて、林新義ねゆきを率たてて、  
進む。ゆす裏うらであつた志節しじくの者ものも、一  
そで、一畠いちばの家いえでも、丈音教じやおんきょうと名なす者ものを食くせ  
お戰たたかう。敵てきは逃のがげたものひとせりつを。城  
中の勢ぜいつよかり。一いっしょと。おはく通りうち。  
のきがくれたら勢ぜいと。追付おづけ追おせ。二三百  
討うめり。まの小ねと云いふ者ものも、  
まの邊への森林りんざい十石じゅうせきをそぞらひに右う手ての射のき。  
捕つかすらとひま捕つかて御前ごぜんへりてあり。鶴川  
後うしろまで斬ねる。淺野あさのは兵ひょうを射のひ一合いつあ

と槍やりをとせ。首くびと割わす。林十石じゅうせきをねむせ。十五  
歳と吉よ教ける。羨うらや慕むはす勝かつき。一いっ年ねん以いあ  
人質じんしちとして。まきくまき上あせ。と。まきまきま  
て。とてぬ。かくぬ。ぬ。ゆ。け。一  
け。よ。義理ぎりと不知し又また。首くびとやく見みせ。と  
彼かれに付つよ。うち。九こ日の和わひ。者ものを殺ころす  
母おのああと。そと。け。り。と。と。十じゅう日のれ生うぶる  
よ。及およ。と。そと。云いけ。き。ひ。も。や。二に三さん日ひ。も。下くだり。  
よ。も。く。酒さけ。や。よ。と。て。え。十じゅう杯まい。取と。取と  
く。の。も。乞う。か。き。お。ふ。一いっしょに。在あたひ。

即ちもくも承り。至氣きおり  
にてと云へば油エバを致しけり。かくて十  
日のねにあらゆる金作。首シテ刻カツれようち。  
十歳ハシナよりうへば。小姓コウジヤ通服ツムギをやくね体  
たりけり。うなづく人等ヒトダケ風波カタハラを遣しけり。  
日十日不被ハシナ源六左衛門竹鼻カクすわせ。ま  
まよマヨて見たまよマヨ小姓コウジヤまなぐり  
旦ハシナ。一旦ハシナは攻アサシふ。とこゝココと。依ハシナ小  
攻アサシす。とつと。八日ハシナ。土日ハシナの承ハシナね松マツ方カタは町  
金作ハシナよぶ。約ハシナと十画ハシナ。か處カツとす

う。主張ハシナ十方ハシナ守マサニ。主張ハシナと之の戻ハシナの町  
舊ハシナを立ハシナ。と、十五回ハシナ。とこそう向ハシナ之度ハシナと  
被作ハシナがり。五日ハシナよ大きハシナもあやハシナ。はうにまろう  
川ハシナをかハシナて下ハシナり。日ハシナよこを増ハシナと  
へる。三尺ハシナ余ハシナ水ハシナ堪ハシナ。木ハシナと土ハシナを一ハシナハ町底  
ある。三尺ハシナ余ハシナ水ハシナ堪ハシナ。木ハシナと土ハシナの敵ハシナ  
ともよ難儀ハシナ。て移入者ハシナ多ハシナうり。源六  
均ハシナとくや思ハシナ。一命ハシナを助ハシナ。被下ハシナ。と  
達ハシナ。よし。がん。放ハシナ。一命ハシナ。城ハシナと猪ハシナ。二柳

市ノツシ城主とヨリヘモタキナウ。ミトヨリ多蘿  
義門もとテ有られ。五江村を賣害とて。丸  
毛三郎兵衛と入里す。まきは至多の黒く。  
丸毛子役作至。四月十二日以降陣ト赴セキ。  
四十日重千士歎。油機ナシケンタクナウ。

尾州蠅ヤニエ乃城鷲川の謀謀恩入之事。  
鷲川左と右暨一益の年まで小伊勢立教  
と領一毛源の城主とて。一木田城亡ヌハラ  
の故に越後守と成く。木田江南教導恩を  
立石と行。一毛の國之を守るの城とハ

信雄の行。一毛てゆくあり。がけまよは信雄  
こと。あきの取及洋禍。一毛勢列其送と博。一  
鷲川と高田平左衛姓号。大人を審とて入  
至。死しぬ。鷲川里や。蠅は。城を洞略。尾  
川より毛と半入。家康とよし。おじや。一毛  
ひと津く。前田よな。うそく前。毛吉。一毛  
へ。毛義と。さく。一庵且賜。毛地。一毛  
そと。もそく。凍け毛。ひに。回。一毛。うそく  
五月十六日。後海。一冰に入ると。毛  
一毛。塙。毛九鬼。右。毛。毛。旨告。毛。セ。

又人ら勢を合ひて大船スルシテよ手運ハシムがけり。鷹川勢タカワガミも輪に之城へ駆スルくへよアリ。己ジ一臺イチタウより入城スルと櫓スル事モノもやくアレ。人等ヒトノタマもよづまう者モノのありき。ナラキテ人浦家より敵火アサヒせし。里スルつとも。二十石ニシナリもうち燒スルかすわ。主將言家康シマツヨシは清洲セイシウ之城シマツよりあちアチ。旨シテは毛利モリと争スル。勢ハシマツとも。於敵スルをすくと見つ。蟻アリに之城シマツよ打スルトセ。先海シマツのまゝと固スルり城中シマツノナカへ鷹川勢タカワガミと入スル。けしきは半ハミハ又大船スルシテよ取スル。もく狩炮軍シマツをかくて城シマツを二重スルシテ三重スルシテ

取スルま矣。主將よ柵シマツと付回スルシテ。十九日午ハシマツ時  
拂スルト。城中シマツノナカを刃ハサミおろ。一。ラ。狹炮スルシテと支入射  
す。も。來スル。火スルシテ矢アマツ。火矢アマツと。向スルシテ。火矢アマツ射スルシテ。附  
の勢ハシマツを。舉スルシテ。狹炮スルシテ。その。空スルシテ。火矢アマツ。火矢アマツの  
方カタを。も。う。網スルシテ。當スルシテ。城シマツより。よ。又。け。之。也  
一。レ。ノ。狹炮スルシテの。す。ま。ま。一。そ。し。城シマツの。兵ヒサシた。ハ。蟻アリ  
の。股スルシテ。之。也。よ。滅スルシテ。も。と。矢アマツた。の。も。ふ。葉ハシマツも  
盡スルシテ。鷹川板タカワガミよ。持スルシテ。一。五。千。人。と。家。昌。よ  
謀。も。あ。り。よ。だ。一。の。お。が。り。一。ま。一。八。千。人。と。正。徳。よ  
と。ね。後。一。向。サ。七。日。勢。列。本。遠。く。櫓。の。主。の。尊。

つま先の爲田方を逃とめ人ひ城より  
を富田云す。の處にの城を立てよ。付くづ  
すの雲山もそらん。城へふえ立ち入り  
けひとと下り。鷹川をせもけど。せみとやら  
被の境キヤウカイと敵く。は、越ちの木一と云ふと  
ひすよし。

返<sup>ロ</sup>信を云即ち<sup>シ</sup>の時ひ見えとひゆよも歸  
川又復<sup>シテ</sup>いよも跨川とて。僅名<sup>アリサ</sup>と高<sup>タカ</sup>く。  
果敢<sup>スカ</sup>史<sup>ケツ</sup>新<sup>ハシ</sup>もひ<sup>シ</sup>う<sup>シ</sup>。今<sup>ハ</sup>形勢<sup>ハ</sup>  
あれすり。呼<sup>ハ</sup>付<sup>フ</sup>す<sup>ム</sup>。

○秀吉<sup>ヒメ</sup>重て尾列義<sup>シテ</sup>が勢之<sup>シテ</sup>事  
同年八月下旬の事<sup>ト</sup>。秀吉<sup>ヒメ</sup>十方方陣<sup>ト</sup>  
差がやく。毛平尾列<sup>シテ</sup>系陣<sup>ト</sup>。二官<sup>ト</sup>へと  
らせひきり。上<sup>シテ</sup>あら村<sup>ト</sup>。立<sup>ラ</sup>丸<sup>ル</sup>於<sup>ク</sup>之<sup>ニ</sup>。并<sup>シ</sup>。  
主<sup>シ</sup>古<sup>シ</sup>毛<sup>シ</sup>。や能<sup>サ</sup>。地<sup>シテ</sup>陣<sup>シテ</sup>を立<sup>シ</sup>。信雄<sup>ハ</sup>  
新村に射陣。家康<sup>ハ</sup>小牧山<sup>ヨ</sup>おり<sup>ク</sup>立<sup>シ</sup>。翌  
日より<sup>ト</sup>一參<sup>リ</sup>村<sup>ト</sup>。田村大聖村<sup>ニ</sup>チ<sup>ハ</sup>要害  
の立<sup>シ</sup>。九月下旬大<sup>ト</sup>おま<sup>セ</sup>。つ  
主<sup>シ</sup>敵<sup>シ</sup>。立<sup>シ</sup>。兵<sup>シテ</sup>糧<sup>シテ</sup>下<sup>シ</sup>。まよ<sup>シ</sup>。一  
と秋十月三日大<sup>ト</sup>掠<sup>シ</sup>。人<sup>シテ</sup>殺<sup>シ</sup>。細<sup>シ</sup>。

ミトムキヨモリノ勢列浦東陣主

秀吉ノ小伊勢夷卯即、も勢之事

因十月六日勢列羽津店裏陣主ノモリの藏  
セ折。蒲生忠三郎。幸那。源子。峰次。左近  
左馬。尉。機。と定らる。信雄。ハ中。ニ。御  
射陣。ミ。く。淡田。之藏。は。鶴川。と。古。幸。木。羽。栗  
下。終。幸若。之藏。は。坂井。左。房。門。射石。川。伯。若。守。主  
城。一日。こ。か。か。さ。と。あ。う。が。ほ。ま。に。足。立。達  
左馬。尉。一。も。和睦。の。扱。セ。か。う。そ。う。く。取。絆  
ひ。あ。う。に。信。雄。ハ。う。尾。の。子。細。主。て。之。藏。事

も。た。く。浦。西。今。ア。レ。テ。信。雄。マ。ト。秀。吉。ハ。十。月  
廿。日。於。矢。田。河。原。浦。射。面。ミ。ク。キ。肆。ミ。シ。モ  
ミ。キ。ミ。ト。役。作。合。秀。吉。ハ。上。市。キ。サ。細。キ。モ。尾  
列。義。取。カ。の。勢。江。取。ク。仕。至。多。之。俄。場。尾  
我。助。一。柳。市。从。ハ。第。ヨ。リ。ノ。引。拂。ヒ。コ。旨  
被。役。を。タ。リ。

或。曰。信。雄。マ。ト。那。阪。キ。モ。一。け。事。ミ。ク。モ  
連。和。睦。ノ。義。潤。一。と。也。

凡。種。那。尾。武。勃。村。大。主。村  
お。庄。ニ。多。欲。ハ。名。わ。と。云。多。勢。と。云

有利とめらきト一上に厚く吉賀  
てあたぐらトノムリ御ちうへ事

